

## 大学院生シンポジウム GS04

垣根を超える ～これからの基礎研究・臨床研究・育薬研究の連携～

### Removal of the Barrier—Cooperation among Basic, Clinical and Drug Fostering Research—

岩田 直大<sup>1</sup>, 河合 俊樹<sup>2</sup>

<sup>1</sup>九大院薬, <sup>2</sup>岡山大院薬

これまで多くの医薬品が世の中に上市され、多くの患者の疾患改善・予防に貢献している。しかしながら、既存の薬では治療困難な疾患の存在、さらには有効な薬は存在するものの、副作用の発現で薬を継続して使用できない患者の存在等、多くの問題が山積している。我々は、この問題のブレイクスルーのためには、基礎・臨床・育薬に渡る幅広い分野の研究におけるコラボレーションこそが必須で、それが次世代の医薬品創薬および医薬品適正使用に繋がり、患者貢献に寄与すると考えている。本シンポジウムでは、このような方向性を有し、現在精力的に基礎薬学及び臨床薬学の研究を展開している大学院生ならびに学部生の講演を行う。講演内容は、うつ病や脳梗塞等の神経疾患を中心に多岐に渡り、その病態発症機序解明ならびに漢方薬等の臨床研究・育薬研究を取り上げる。今後、薬学が他の生命科学分野と差別化を図る上でも、このコラボレーションの重要性は増してくることは明白であり、聴衆者と活発なディスカッションを行い、このコラボレーションの活性化を図る。